

「これからの袖ヶ浦の話をしよう」

市長選を考える！



「これからの袖ヶ浦の話をしよう」有志の会
と袖ヶ浦を愛する人達

市長選挙立候補者

マニフェスト検証会

各候補者のマニフェスト（政策）をわかりやすく検証致しております

10月18日(日曜) 14:30 ~ 16:30

袖ヶ浦市民会館 中ホール

参加無料

【企画内容】

■ 選挙期間中に配布される各候補のマニフェストを比較検証する

【手 法】

■ 早稲田大学マニフェスト研究所のマニフェストスイッチのサイト「フォーマット」を活用し、各候補の主張や横顔を紹介する。参加者とともに各候補のマニフェストを検証し、Facebook等のネット上に公開する。



【企画者】

「これからの袖ヶ浦の話をしよう」
有志の会代表

こやま たいすけ

古山 泰輔 (20歳)

明治大学 政治経済学部 政治学科

千葉県立千葉東高等学校 卒業
袖ヶ浦市立蔵波中学校 卒業

袖ヶ浦市は臨海部に石油コンビナートはじめ大企業を抱えており、企業群からの固定資産税等の諸税収入により他市に比べると財政的に豊かです。しかしながら「地方消滅、東京一極集中が招く人口急減」でも指摘されている、日本の市町村が抱えている様々な問題は袖ヶ浦市も同様の課題です。これら諸問題の解決には行政が果たす役割は非常に重大です、そこで市長選挙の立候補者は「どのような意見を持ち、私たちの未来を描こうとしているのか」を真剣に見極めることが、袖ヶ浦市の未来を考える上で必要不可欠であると考えてに至りました。しかし現在の地方自治体の選挙では候補者が掲げるマニフェストを詳しく比較検討する試みを行った事例は多くありません。そこで有権者が適切な投票を行うために、各候補者の主張を検討することが必要だと考え、有識者及び同志の協力のもとに「マニフェスト検討会」を開催することになりました。市民の皆様方、興味のある方、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

